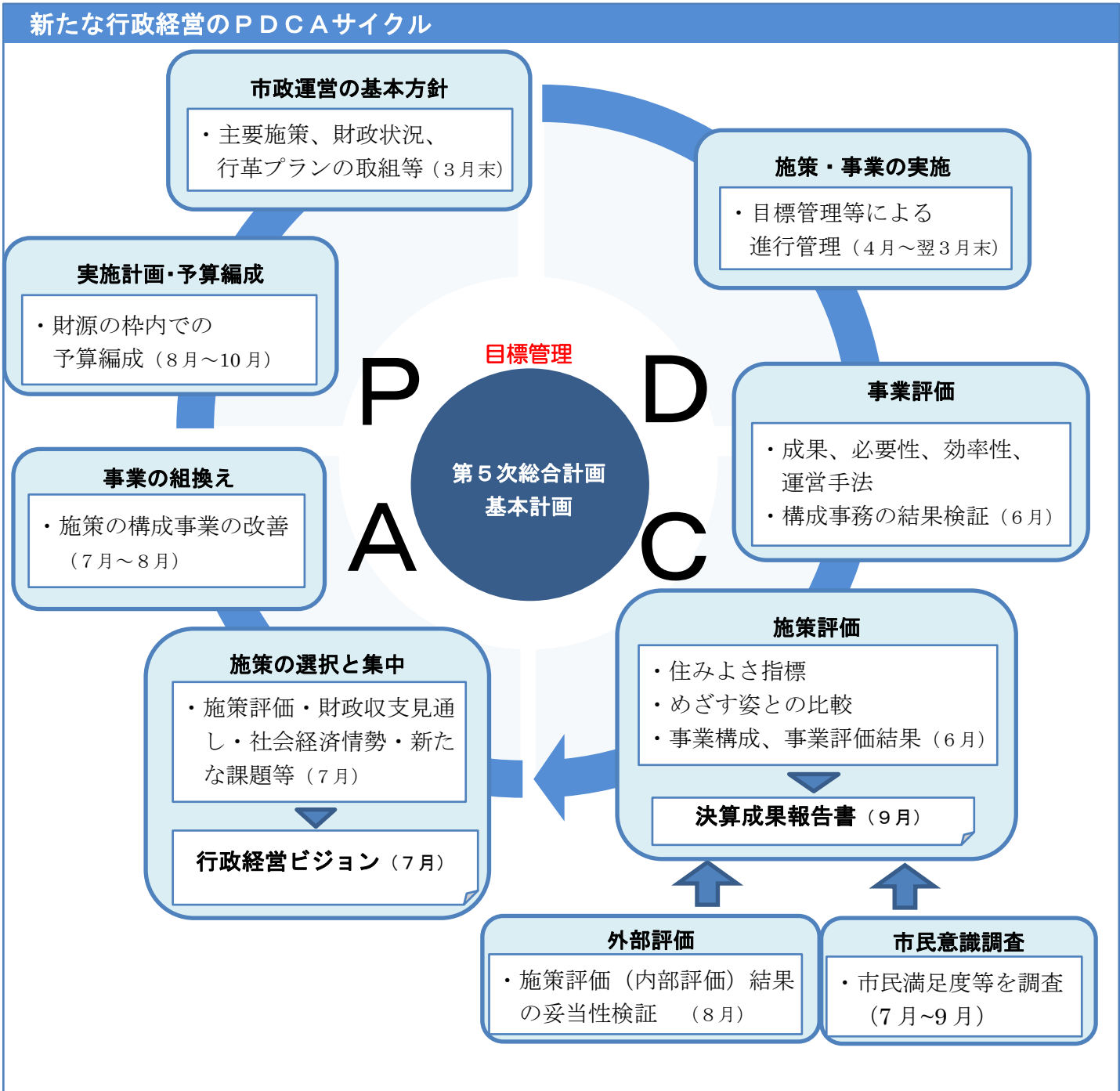


行政経営の仕組みの構築について（概要版）

目的
第5次総合計画がめざす将来都市像を実現するため、行政評価を軸とした行政経営の仕組みを構築し、限られた資源を効果的・効率的に活用することで最大限の成果を得るとともに、持続可能な市政運営を行う。

方向性
○第5次総計推進のため、トップマネジメントによる持続可能な行政経営の仕組みを構築
○総合計画の進行管理、施策の選択と集中及び事業の組換えに活用するため、行政評価の仕組みを見直すとともに評価の客観性確保を図る
○紙面の有効活用、施策評価結果の掲載、事業評価結果の充実など、決算成果報告書を見直し



行政経営
行政評価を軸に、各要素の目的や他の要素との関係性を明確にし、互いに関連づけることで、行政経営の仕組み構築を進める。

- 施策・事業の実施（目標管理等による進行管理）**
施策・事業の方向性に沿った組織目標を設定し、目標管理制度により施策・事業の計画的な実施に努める。
- 施策の選択と集中**
財政収支見通し、新たな課題、市民ニーズ等を踏まえながら、施策評価を活用して、施策や財源配分等の重点化を行う。
- 行政経営ビジョン**
施策の選択と集中の結果、各施策の方向性（サービス水準・財源）や主要施策、財政収支見通し、行政経営改革の取組み等を取りまとめて全庁で共有し、事業の組換えや実施計画の策定、予算編成等の指針とする。
- 事業の組換え**
行政経営ビジョンに基づき、財源の範囲内で新規事業の検討、既存事業の見直し等を一体的に議論し、最適な体系組み換える。
- 実施計画・予算編成**
効果的・効率的かつ戦略的な事業内容の検討及び資源の配分を行い、施策目的の実現を図る。
- 「市政運営の基本方針」の策定**
新年度に向けて、本市を取り巻く社会経済情勢や取り組むべき課題、財政状況等とともに、市の取組みの方向性を明確に示し、全庁的な方針をとりまとめ、全職員で共有する。

決算成果報告書の見直し

- 施策評価・公会計関連資料を掲載
- 紙面の有効活用（事業評価部分の充実）
- 事務負担の軽減

行政評価
評価項目、対象、時期を見直し、選択と集中や組換えへの活用を進めるとともに、外部評価や数値指標等により、評価の客観性確保を図る。

- 事業評価**
事業を成果、必要性、効率性、運営手法の観点から評価し、改善を図る。事業指標（数値指標）の分析により、客観性を確保する。
- 施策評価**
住みよさ指標や10年度のめざす姿の達成度を評価し、施策の選択と集中や構成事業の改善を進める。また、事業構成及び事業評価の妥当性を検証する。
- 市民意識調査**
市政に対する市民意識を把握し、施策推進の参考とすることで、市民ニーズの反映と参画の機会拡充を図る。
- 外部評価**
市内部で行った施策評価の妥当性を、外部委員により専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保する。

スケジュール

2月	事業仮評価
3月	施策仮評価
4月	目標管理、施策・事業の目標設定
6月	施策・事業評価（本評価） 決算成果報告書作成
7月	施策の選択と集中（行政経営改革検討会議） 行政経営ビジョン（行政経営会議） 市民意識調査 事業の組換え
8月	外部評価・実施計画案作成
10月	事業の組換え・予算編成
翌3月	市政運営の基本方針策定